

2006年度 自然遊学館わくわくクラブの活動

江本玲子・喜多理恵・白木 茂・鈴子佐幸・日高佐知枝・日高 学(自然遊学館わくわくクラブ)

わくわくクラブは、自然遊学館と協働で自然環境活動を展開するボランティア団体です。
自然生態園維持作業を中心に、見学・観察・体験・発表などの活動をしています。

活動内容

ハッサク選果



2006年4月15日 参加者15名 場所:紀の川市 児嶋果樹園

当日は、あいにくの雨でしたが、納屋で保存しておいたハッサクの選果作業を行いました。コンテナから1つ1つ取り出し、傷んだものを取りのぞいてタオルできれいにみがいていきました。
ハッサクの良い香りがただよう中、自分たちで収穫したハッサクが1つずつピカピカになっていくのは、大変ながらもとてもうれしい作業でした。

たわわ祭り



2006年5月3日 参加者22名 場所:貝塚市馬場「農業庭園たわわ」

昨年に引き続き、自然遊学館わくわくクラブとして出店しました。
児嶋果樹園より分けて頂いたハッサクと、会員手製のビーズトンボを販売しました。
ハッサクの試食を出したところ、味見をしてくれた人はみなさん「おいしい!」と言って下さり、今年も見事完売しました。
子どもたちも売り子や店番で大活躍してくれ、大人も子どももみんな楽しんで1日でした。



ホタル鑑賞会



2006年6月10日 参加者14名 場所:貝塚市大川

自然生態園作業のあと、山口わくわくクラブ会長宅でフミ子さん手作りの大川名物料理をいただきました。
ホタルも見ることができゆったりとした夕べを過ごすことができました。

成ヶ島見学



2006年6月25日 参加者16名 場所:兵庫県南あわじ市

アカウミガメが産卵に訪れ、ハマボウの美しい花が開花する成ヶ島。
「成ヶ島を美しくする会」の花野さんの案内で海浜植物や、塩性湿地を見学しました。
一日、雨に降られましたが、参加したメンバーは成ヶ島の魅力にとりつかれたのではないのでしょうか。
もう一度行きたくなる島です。
釣り・潮干狩りとそれぞれ楽しみました。



ハッチョウトンボ 観察



2006年8月6日 参加者9名 場所:豊野郡能勢町 地黄湿地

トンボ遊学隊、天満隊長にハッチョウトンボを見に連れて行ってもらいました。ハッチョウトンボは、トンボの中でいちばん小さく、とてもかわいいトンボです。最近では数も少なく、あまり見るできません。トンボがすめる環境づくりの大切さを痛感しました。



水辺の楽校



2006年8月20日・21日 参加者28名 場所:貝塚市木積「松葉荘」

この行事は、子どもたちがとても楽しみにしている1つです。松葉荘での1泊2日の夏合宿です。近木川でシュノーケリングや魚の観察をしました。ヨシノボリの丸い胸ヒレもしっかり確認できました。天然のすべり台・とび込みは、子どもたちのメインイベントです。大人も子どもに戻る、二日間です。ただ残念なことは、松葉荘が取り壊しになり、ここでの楽校は今回が最後になったことです。



トンボサミット



2006年8月26日・27日 参加者8名 場所:山形県鶴岡市

トンボサミットに絶対に参加したいという鈴子勝也さんの願いによって、貸切り夜行バスで行く強行軍。月山・鳥海山のエクスカッションをはじめ、ゆっくりとした時間の流れ、どこまでも広がる田園など大阪では見ることのできないものがいっぱいありました。アキアカネもいっぱいいました。また、ぜいたくにもバスを自家用車代わりにいろいろなところに行ってもらいました。



成ヶ島見学

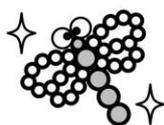


2006年9月2日 参加者15名 場所:兵庫県南あわじ市

2回目の、成ヶ島見学。「成ヶ島を美しくする会」の方に島を案内していただいた後、大潮ではなかったので、磯観察には、不向きでしたが、子どもたちは海に入り、大人も貝ひろい・釣り・島の散策と、思い思いの事をして過ごしました。たった半日で帰ってしまうのはもったいない、もっとじっくりと島を探索しているいろいろな植物や生き物を見てみたいと思う、すばらしい所でした。帰りは南海淡路フェリーで、目撃情報のあるスナメリの姿も探してみました。その後、このフェリーは廃止となってしまい、残念でなりません。



ビーズトンボ販売



2006年10月22日 参加者7名 場所:貝塚市水間「水間鉄道水間駅」

奥水間ゆっくりウォークの行事にあわせ、水間駅構内で、ビーズトンボの販売とトンボの写真を展示しました。構内だったので電車の乗客が降りてくる反対方向だったので、気づかないで行ってしまう人も多かったです。隣では水間鉄道の鉄道関係の商品が売られていました。

ハッサク摘果



2006年10月29日 参加者9名 場所:紀の川市 兒嶋果樹園

恒例の、兒嶋果樹園のお手伝いです。
今年は果樹園主が多忙で、まだ夏の摘果(木になった実を間引いて、大きな果実に育てる)も終わっていませんでした。
そのため、素人集団もおおいに？
役に立ちましたが、どれを捨て
どれを残すか迷いに迷い時間が
どんどん過ぎていく一日でした。
合間にオオトビサシガメやキボシ
アシナガバチ(巣)に出会いました。



池さらえ



2006年11月23日 参加者19名 場所:貝塚市馬場「たわわの小池」

池の回りの草刈りをし、池の水をポンプで抜き、バケツリレーで底にたまった、泥を取り除きました。泥の中からドジョウ・スジエビ・ザリガニなどの生き物を救出しているとヒキガエルが顔を出しました。
とても疲れる作業ですが、今年は、樋柱(ひばしら)と馬の頭(かしら)の姿を見ることができました。



ハッサク収穫



2006年12月23日 参加者22名 場所:紀の川市 兒嶋果樹園

みんなで手分けして、ハッサク収穫のお手伝いをしました。
大人も子どもも木にのぼり、ひとつひとつ、とっていくのは重労働ですが、ハッサクの香りや向山の景色を見ながらの作業はとても楽しいものです。
いただいたハッサクの中身はおいしく食べ、皮はお風呂に入れて二度楽しみました。
一年をしめくくる素敵な作業です。



コハクチョウ見学



2007年1月13日 参加者10名 場所:滋賀県湖北町 琵琶湖東岸

冬の湖北の美しい風景が印象的でした。お目当てはコハクチョウと、オオワシです。
遠くの山にとまっているオオワシをフィールドスコープと双眼鏡で観察しました。
やとさがしあてたコハクチョウ4羽を、田んぼのあぜ道から観察しました。
夕暮れが近づくなか、飛び立っていったコハクチョウは美しかったです。



ハッサク剪定



2007年3月3日 参加者7名 場所:紀の川市 児嶋果樹園

児嶋果樹園ではいつも貴重な里山農業体験をさせてもらっています。剪定は今年の収穫量に影響する大事な作業ですが、ついつい樹上から眺められる里山の景色に見とれてしまいます。竹林を背に枝垂れ梅と瓦屋根が印象的でした。果樹園の中にイノシシ獲りの檻が2箇所仕掛けてありました。



レンコン植え

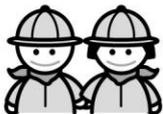


2007年3月10日 参加者16名 場所:貝塚市馬場「たわわの小池」

昨年のレンコン植えが失敗に終わったので、ことしは、池の水を少なくして、植える場所を選定して、チャレンジしました。しかし、レンコン植えは難しく今年も失敗でした。



関西の水環境を 楽しもう!



2007年3月17日 参加者2名 場所:大阪産業大学

日高さんに作ってもらった2005年の活動記録を持って、ポスターセッション(水環境学会関西支部企画)に参加しました。多くの参加団体の中で、深泥池水生生物研究会(深泥池保全のため生態系管理作業を行なっている)のモンドリによる日常的外来魚捕獲作戦は、トンボの池のザリガニ捕獲にも参考になるものでした。



近木川河口 定点撮影



2ヶ月毎

潮騒橋のポイントより近木川の下流側と河口側の撮影を2ヶ月毎におこなっています。撮影するたびに少しずつ変化している河口部のようすがとても気になります。



2006年 4月 7日



2006年 8月 7日



2007年 2月 10日